

### シンポジウム 3

「早期大腸癌に対するアプローチの最前線、内科と外科の接点」

Frontier in approach to early colorectal carcinoma: contact point between physician and surgeon

司会 田中信治（広島大学大学院医歯薬保健学研究科内視鏡医学）  
渡邊昌彦（北里大学外科）

早期大腸癌に対する各種治療手技が進歩している。また，T1 癌に関しては，多数症例の詳細な解析によりリンパ節転移リスクの層別化が可能になってきており，局所治療の適応拡大が模索されている。さらに，超高齢化社会である本邦では，患者の背景や余命を考慮して治療法を選択する事も重要である。本セッションでは，これら様々な観点から，内科と外接点を中心に術前診断も含めて早期大腸癌に対するアプローチの最前線について議論したい。